

新宿駅の変遷と複雑化に関する研究

志久 匠昌
指導教員 八尾 廣
建築設計計画研究室

1. はじめに

1.1 研究の背景と目的

新宿駅は1885（明治18）年に「新宿停車場」として開業して以来、137年間発展を続けてきた。1885年の開業当時は木造の小さな駅舎であった。1925年には現在の新宿駅の原型となっている駅舎が建設された。その後、駅の拡張工事が継続的に行われ、東京都の交通を支える複雑で大規模な駅舎へと発展した。1960年からは高度経済成長期の影響を受け、新宿駅周辺にビルが数多く建設され、1966年には新宿駅西口広場が建設されたことによって新宿駅周辺は大きく姿を変えた。その後、1980年からは大幅に路線数が増加した。現在でも新宿駅の改良工事は行われており変化を続けている。このように新宿駅は年々拡大され、複雑な建築となった。本研究では、新宿駅の変遷にまつわる歴史的資料を可能な限り収集し、その歴史の全体を把握するとともに、駅舎の変遷と複雑化の過程を把握し、可視化することを目的とする。

1.2. 研究対象と方法

本研究では資料調査で得られた資料を基に研究を行った。資料収集にあたっては、新宿駅の歴史について書かれた書籍や鉄道専門誌、建築雑誌から新宿駅の歴史に関する資料や図面の収集を行った。新宿歴史博物館でも資料収集を行った。さらに、国土地理院から地図データや航空写真を資料として収集した。上記資料から新宿駅の計画に関わる事象を抽出し、新宿駅構内の変遷に関する年表を作成した。また、作成した年表と収集した図面、資料をもとに新宿駅の変遷を把握した。さらに、作成した年表から時代ごとの傾向を読み取り6つの時代に区分し、時代ごとに新宿駅が複雑化した原因を分析した。最後に、時代ごとの新宿駅の範囲を表す図面を作成し複雑化していく様子を可視化した。

2. 調査結果

新宿駅の歴史に関する資料を可能な限り収集した。これらの資料（文末参考文献参照）を参照し、新宿駅の歴史を以下にまとめる。

2.1. I 期 新宿駅開業と基盤形成（1885 年～1924 年）

新宿駅の開業当時は貨物輸送を中心としており、1日の乗車人数は50人程度の小さな駅であった。その後、各鉄道会社が市街線建設や電車の導入に注力し、人口が増加し続ける東京市内の交通の拡充を図り、輸送力を強化したことによって1912（明治45）年には1日平均乗車

人数は4882人まで増加した。新宿駅開業から1925（大正14）年までの40年間は、現在の新宿駅の基盤が完成し、新宿駅が交通の要所として成長した時代である。^{1)~4)}

2.2. II 期 人口増加と新宿駅の発展（1925 年～1959 年）

1925（大正14）年の新駅舎の完成を皮切りに、新宿の

表1) 新宿駅の変遷に関する年表

時代区分	年代	出来事
I 期	1885	新宿駅開業、品川線が開通
	1889	甲武鉄道会社 新宿－立川間が開通
	1894	甲武鉄道会社 新宿－牛込間が開通
	1897	新宿駅構内の拡張工事が施工される
	1903	品川線と豊島線を併合して「山手線」と改称
	1906	1904年から行っていた駅構内の改良工事が竣工 甲武鉄道が中央線となる
	1909	中央線と山手線が交差するターミナル駅となる
	1915	京王電気軌道が開通
	1919	山手線複々線化工事に伴う改良工事が始まる
	1923	関東大震災
II 期	1924	新宿駅青梅口、甲州口改築移転 中央線の電車乗降場が2か所あったものを1か所に統合 山手線、原宿－新大久保間複々線化工事に伴う改良工事竣工
	1925	新たな新宿駅が完成 現在の新宿駅の原型となる
	1927	小田原急行鉄道、西武鉄道新宿線が開通 駅舎増築 京王電車の始発駅を本社ビル1階に移設
	1933	新宿駅青梅口改良工事、甲州口増築工事が竣工 ホーム中央地下通路が完成
	1934	中央線の急行電車運転に伴う新宿駅改良工事が竣工
	1936	新宿駅西口前の煙草専売局工場の移転が始まる
	1945	東京空襲により新宿駅および構内の付属諸建物のほとんどを消失
	1947	甲州口に東京急行線、京王電気軌道線との連絡口が開設 小田急への地下連絡通路が開設
	1952	西武鉄道新宿線 高田馬場－西武新宿間開通
	1956	新宿駅第3、第4乗降場拡張工事完成
III 期	1958	改築のために中央口仮駅舎竣工 中央地下道口開設
	1959	営団地下鉄丸ノ内線開業
	1961	小田急の立体ターミナル新宿駅（西口）の改良工事の一部が完成
	1962	京王帝都電鉄の新宿駅西口ビル一部完成 西口地下駅使用開始
	1963	京王線、新宿駅付近併用軌道移設工事が完成 地下新宿駅が営業開始
	1964	新宿ステーションビル、京王新宿駅ビルが完成 新宿駅構内新青梅地下道の幅を5mから8mに拡幅
	1966	新宿駅西口駅前立体広場および地下駐車場が完成
	1967	新宿駅中央地下道の幅8mを20mに拡幅 中央西口の京王線への連絡通路が完成 新宿駅西口駅舎が竣工 小田急新宿駅ビルがオープン
	1971	山手（やまて）線を山手（やまのて）線に改める
	1976	新宿駅南口に、ターミナルビル「新宿ルミネ」がオープン
IV 期	1977	西武新宿駅新装 西武新宿駅ビルがオープン 地下鉄新宿3丁目駅・西武新宿駅と新線新宿駅がつながる
	1978	新宿駅ステーションビルを改築し「マイシティ」としてオープン
	1980	都営地下鉄新宿線が開業
	1981	小田急新宿立体駅の工事が完了
	1982	新宿駅南口コンコース拡幅工事が完成 京王線新宿駅の改良工事完成 小田急新宿立体駅の工事が完了
	1984	新宿駅南口に、「新宿ミロード」がオープン
	1986	埼京線乗り入れ開始
	1987	国鉄分割民営化によって南口の旧貨物施設跡地を中心に発展し始める
	1991	成田エクスプレスが開通（総武線）
	1995	高崎線・宇都宮線の近郊電車の一部の電車が新宿発着になる
V 期	1997	都営地下鉄が開業（2000年に都営大江戸線に名称変更）
	2001	湘南・新宿ラインが開業
	2008	副都心線開業
	2010	南口と副都心線新宿3丁目駅南側を結ぶ地下歩道が完成
	2013	甲州街道拡幅が完成
	2016	バスタ新宿と新宿ミニタワーが完成
	2020	東西自由通路が開通
	2022	小田急百貨店新宿店本館の解体工事が始まる

街には娯楽施設やデパートが建てられ、栄えていった。1934（昭和9）年には1日当たりの交通量は日本一となっていたことから新宿の発展がうかがえる。1930年代後半より日本は軍事体制時代に突入した。新宿は戦争によって大きな被害を受けたが、続々と復旧改良工事が完成し、再建していった。終戦後の東京は1945年から1955年にかけて450万人も急激に人口が増加したため、新宿駅でも構内の拡張や増設が求められた。この時代には新宿は急激に発展し、新宿駅もそれに伴って改良工事を行い拡大された時代である。¹⁾⁻⁴⁾

2.3. Ⅲ期 都市「新宿」と地下新宿駅の発展（1960年～1975年）

1960年代、日本は高度経済成長期の真っただ中であり大きく発展していた。新宿駅もその影響を受けており、新宿駅周辺ではビル建設ラッシュが始まった。新宿駅には小田急の立体ターミナル駅や京王帝都電鉄の新宿駅西口ビル、新宿ステーションビルなど多くのビルが建設された。さらに、坂倉準三の手によって新宿駅西口広場も建設された。これらによって新宿駅は巨大化し利用者は増加したが、同時に複雑化の要因ともなった。¹⁾⁻⁵⁾

2.4. Ⅳ期 新宿駅の高層化と拡大（1976年～1979年）

高度経済成長期の影響によって新宿駅ではビル建設ラッシュが起こっていたが、この時期にもまだその影響が残っており、新宿ルミネやマイシティ、西武新宿駅ビルが建設された。これらのビルはターミナル機能と商業機能が備わった複合ビルであった。この時期から新宿駅のターミナル機能と商業機能が通路によって接続されたことによって新宿駅は多機能化された。これによって新宿駅の範囲が拡大し複雑化した。¹⁾⁻⁴⁾

2.5. Ⅴ期 交通結節点新宿駅（1980年～2009年）

1980年から2009年の間に新宿駅の路線数が9本も増加し、新宿駅は拡大された。それに伴って新宿駅の利用者も増加し、1日に250万人もの人が利用する世界一の

駅となった。この時代には路線の増加による駅の拡大と多くの路線と路線を結ぶ経路の増加によって、利用者にとって複雑な駅構造となった。¹⁾⁻⁴⁾

2.6. Ⅵ期 複雑化の解消と開発（2010年～2022年）

2010年以降、新宿駅がこれまでの度重なる拡張工事によって複雑化されてきた構内を改善するために、地下道の増設や拡幅、バスタ新宿建設による高速バス乗り場の集約や東西自由通路の開通など、様々な開発が行われてきた。今後も東西の移動の利便性の向上のための東西デッキの建設も計画されている。この時期には新宿駅が巨大化し複雑化したことを解消するための計画が行われている傾向がある。^{3) 6) 7) 8)}

3. まとめ

新宿駅の計画に関する歴史を時代ごとに分析した結果、新宿駅の変遷には時代ごとの傾向があり、社会や経済、人口の影響を受けながら徐々に複雑化してきたことを把握することができた。これまでの新宿駅の137年間は複雑化の時代であったが、今後の計画では複雑で巨大化した駅舎をいかに整理してゆくかが課題となると思われる。

参考文献

- 1) 三島富士夫, 生方良雄: 鉄道と街・新宿駅, 大正出版, 1989年
- 2) 新宿歴史博物館: ステーション新宿, 東京都新宿区教育委員会, 1993年
- 3) 鉄道ジャーナル社: 鉄道ジャーナル 2018年3月号, 2018年
- 4) 新宿駅: 新宿駅100年のあゆみ 新宿駅開業100周年記念, 日本国有鉄道新宿駅, 1985年
- 5) 新宿駅西口広場建設記録刊行会: 坂倉準三の都市デザイン 新宿駅西口広場, 鹿島出版会, 2017年
- 6) 日経BP社: 日経アーキテクチュア 2014年1月10日号, 日経BP社, 2016年5月26日号, 日経BP社, 2022年1月27日号, 日経BP社
- 7) 新宿区ホームページ
<https://www.city.shinjuku.lg.jp/>
- 8) 基盤地図情報ダウンロードサービス
<https://fgd.gsi.go.jp/download/menu.php>
- 9) 新宿駅周辺屋内地図オープンデータ, G空間情報センター
<https://www.geospatial.jp/ckan/dataset/mlit-indoor-shinjuku-r2>
- 10) 地図・空中写真閲覧サービス, 国土交通省国土地理院
<https://mapps.gsi.go.jp/maplibSearch.do#1>
- 11) 東京時層地図, 一般財団法人 日本地図センター

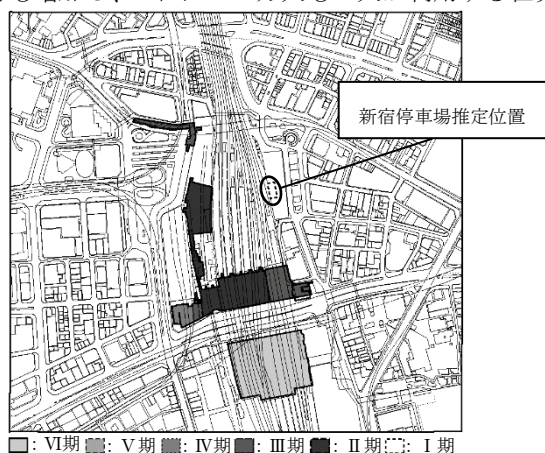


図1) 新宿駅地上の変遷図^{*1)}

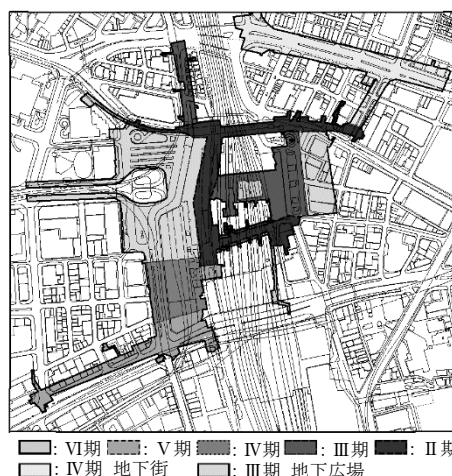


図2) 新宿駅地下の変遷図^{*1)}

※歴史的な資料においては縮尺の正確な図面を入手できなかったため、文献調査より推測し作成した。